

令和3年度 さいたま市立本太小学校 第2回学校運営協議会準備委員会 議事録

【日 時】令和3年11月9日（火） 10時00分～11時30分

【場 所】本太小学校 南校舎2階 第2多目的室

○議事録

司会：教頭 書記：学校地域連携コーディネーター

- 1 開会
- 2 校長あいさつ
- 3 体育授業公開VTR視聴
- 4 授業参観
- 5 児童の実態についての説明及び熟議
 - (1) 学校教育目標の観点からみた児童の実態について（校長・教頭・教務主任）
 - ①「かしこい子」について（教務主任）
 - ・全国学力学習状況調査については、良好である。
 - ・自分の考えを伝える力、意見を比べる力が課題。
 - ②「心の豊かな子」について（校長）
 - ・相手の気持ちがわかる、みんなのために行動できる、友達と協力して課題を解決できる、こういった面を育成している
 - ・自分の考えと異なる考えを受け入れる力が課題。
 - ・本年度、最も重視して取り組んでおり、特に道徳教育に力を入れて研究を推進している。
 - ・道徳教育を通し、様々な価値（友情・家族愛等々）の理解に基づき、一人ひとりが自分の生き方を考えさせていくことが大切。
 - ③「たくましい子」について（教頭）
 - ・体力だけでなく、食、健康も含めて取り組んでいる。
 - ・コロナ禍の状況をみながら、工夫してできることを行い、体力向上を図っている。
 - ・コロナ禍の影響からか、反射神経の低下や不注意による児童の事故や怪我が多い。

(2) 熟議 (本年度重視している「心の豊かな子」について「児童につけたい力は何か」)

①グループでの話し合い

②発表

Aグループ

- ・思いやり、認め合い
- ・言いにくいことでも言い合える

} 他者とのかかわりで
高める力

- ・尊敬
- ・チャレンジする
- ・失敗を許す
- ・感動する

} 個々に高めたい力

Bグループ

- ・自分を大切にする力
- ・素直さ、我慢できる力
- ・自分の意見が言える力
- ・他者とかかわる力
(思いやり・他者の痛みがわかる・他者の話を聞く)
- ・多様性を理解できる力

} コミュニケーション力

Cグループ

- ・感謝できる
- ・人の気持ちを考えることができる

} 土台となる力

- ・他者の考えからベストを探る力
- ・異なる考えを受け入れる力
- ・将来の夢を考える力

} 多様な他者との出会いが大切

③まとめ

- ・自分の生き方に興味をもつ、夢をもつことは大切
- ・色々な人と話すことは大切。他の人の気持ちがわかる。
- ・地域の方々の気持ちをさらに入れていけるとよいのでは。
- ・地域の願い、地域の愛で子どもを育てることは重要である。「地域の子どもは地域で育てる」
- ・学校が示す子ども像は、地域の願い、保護者の願いを吸い上げていかねばな

らないもの。今日話し合った「児童につけたい力」は、SSNの中でも大きな比重を占める。

- ・コロナ禍で、色々な行事や諸団体の活動がない中、こうした活動が再開すれば、具体的な意見交換ができ、子どもにつけたい力にせまれるのではないか。

6 閉会